



世界へ羽ばたく 男子バスケットボール界の ニューヒーロー

燃ゆる原石たち # 4

福岡大附属大濠高校3年 **中田 高基** しゅう き

プロフィール

福地小1年からミニバスケットボール（12歳以下の小学生が行うバスケットボール）を始め、3年まで福地クラブ、4～6年まで植木クラブに所属。福岡市早良区の強豪校・西福岡中学校に進み、現在は福岡大附属大濠高校（福岡市中央区）の3年生。身長173センチと小柄な体格ながら、中学生の頃から日本代表選手として海外での試合に出場。

主な世界大会出場歴

- 第4回 FIBA ASIA U16 男子バスケットボール選手権大会（当時中学3年生はチーム内最年少）
- 第24回 FIBA ASIA U18 男子バスケットボール選手権大会（当時高校1年生はチーム内最年少）
- FIBA U19 バスケットボールワールドカップ2017（当時高校2年生。唯一の高校生参加）



もっと上手になりたい

バスケットボールを始めたきっかけは？

姉がバスケットをやっていたこともあり、家族に勧められたのがきっかけです。とりあえずシュート打ってみなよって言われて、打ってみたら入らなかったのが悔しくて、入るまでやりました。そのうちハマって、気づいたらバスケット部に入っていました。

市外の中学校へ進学。思い切った決断だと思うけど、迷いはなかった？

小学校のミニバスで全国大会に出られなかったのがとても悔しくて、中学校では必ず全国で戦いたかったんです。両親からも「どうせやるなら強いところでやってみたら」と後押しがあり、西福岡中学校へ進学しました。

きついこともありましたが、一年生ひとりで三年生に混じって試合に出ていたときは、プレッシャーもあって…そのとき初めて、楽しさよりも「きつい」という感情のほうが勝りました。また、キャプテンを務めた3年生のときは、その何年かのうちで唯一全国に行けなかった年で、責任を感じて悩みました。ただ「やめる」とは思わず「もっとやってみよう」と発憤しましたね。

その後大濠高校に進学して、国内・海外の大会でも活躍。そこまでバスケットを続けられる原動力は？

「好き」なのと「負けず嫌い」だから

でプレーすると、気持ちも上がるし、自分のレベルが上がると感じて楽しいです。あとは相手を出し抜いてゴールを決めたとき。相手が「なんで今のが入るの」というような反応をすると気持ちいいですね。

司令塔としての役割

中田さんが務めるポイントガードというポジションはチームの司令塔。ポイントガードとしての自分の強みは？

他の選手よりも声を出せるところが強みです。負けられないと思うと「ミスしたくない」という気持ちで硬くなってしまおうと思うんですよ。そういう

うときに自ら声を出して、選手とも監督（片峯聡太先生）ともコミュニケーションを取っています。試合になって急に意思疎通を図るのは難しいので、日頃からよく話しています。タイムアウトの時間も限りがあって無駄にできないので、少しの時間でも皆を集めて話しています。

日頃コミュニケーションが取れない日本代表チームでは、どう対処していますか。

最初はコミュニケーションが取りづらくても、合宿で一緒にプレーしていくと、すぐに仲良くなれます。また、代表の選手はプレーのレベルが高いので、コミュニケーションが深まればチーム力もぐんとレベルアップします。そうやってチームが固まってくのは楽しいです。

さらなる高みへ

今の課題は？

ゴールにアタックするプレーがまだまだです。海外選手と対戦するとブロックが気になって、ミドルシュートやスリーポイントシュートが多くなり、ドリブルからゴール下に切り込んでシュートにつながる攻撃が少なくなってしまう。今はとりあえず攻め込んで課題を見つけて、攻撃のバリエーションを増やしたいです。

また、身体が硬いといけがにつながる

ため、柔軟性を高めてけがを防ぎたいです。柔軟性が上がると、ディフェンスのときのスライドなど基本動作の質が上がります。プレートの幅も広がります。オンオフの切り替えも課題です。以前は暇さえあれば練習していました。今はオフの日は必ず休んで体をケアしています。

ご両親のサポートは大きいのでは？

父と母は自分のコーチ。母からは、自分が今言われたくないことをスバツと言われてよくケンカになるんですけど（笑）、それでも変わらず言い続けてくれて、感謝しています。父本人はバスケットボールをやっていたわけじゃないんですけど、バスケットに対してすごく研究熱心。その姿勢を見て、自分も研究したり、調べたりするようになりまし。今でも困ったときは父の意見を聞いています。ここまでこれたのは両親のおかげですね。

今後の目標を教えてください。

まずはBリーグ（日本のプロバスケットボールリーグ）に入って活躍すること。そして一度はNBA（アメリカのプロバスケットボールリーグ）に挑戦してみたいです。選手としていけるところまで全力で頑張るって、その後は指導者になりたいと思っています。片峯監督のように教員をしながら学校で教えるのか、国際経験を活かして日本のナショナルチームで教えるのか：いろいろ考えていきたいです。

らかな。できないことが見つかったら、負けず嫌いに火がついて練習してできるようになる。そうしたらまた課題が見つかって、練習して克服して…という繰り返し。楽しくて、好きなんです。**試合で楽しいのはどんなとき？**

競った場面やミスできないような場面でプレーするのが一番楽しいです。

残り何秒かで勝敗が決まるような「何かが起きる」ときが一番注目されるじゃないですか。そういう緊張感の中



福大大濠男子バスケットボール部員。全国大会常連の強豪チーム。

監督に聞きました

片峯聡太監督（写真左）

とてもリーダーシップがあり、頼もしい存在。日本代表でも部活動でも、変わらない態度で黙々と自分の課題に取り組む姿勢が素晴らしい。

一手、二手先を読んで試合を組み立てる能力があり、感じて動けることが強み。

